

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0972300479		
法人名	医療法人木水会		
事業所名	グループホーム八州苑		
所在地	栃木県栃木市藤岡町1386-1		
自己評価作成日	平成30年10月1日	評価結果市町村受理日	平成30年11月29日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報公表システムで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/09/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会		
所在地	栃木県宇都宮市若草1-10-6		
訪問調査日	平成30年10月17日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの周りは緑豊かな木々に囲まれ、ホームの中に居ても四季を感じることができる。家庭的な環境のもとで日常生活の介助を通じて、安心と尊厳のある生活を支援している。隣接している老健施設との合同納涼祭や運動会、各月の誕生日会、デイサービスで行われている音楽療法、グループホーム合同の行事などにも積極的に参加し、交流を深めることで沢山の方とふれあう機会を設けている。又利用者様の出来ることを見つけ、役割を持ってもらうことにより、活気ある生活が送れるように支援している。職員は利用者様には、元気よく、明るい挨拶と丁寧な対応心がけている。馴染の関係もでき、誰かがいないと皆が心配したり、スタッフにも労いの言葉を掛けてくれる優しい利用者様が多い。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、アウトレット、ショッピングモール、道の駅といった多くの大型施設から車で数分の距離にあり、交通の便も良い環境にありながら、繁華街の喧噪を離れた田畑に囲まれた静かで自然豊かな地域にある。法人の母体医院も近く、定期的な訪問診療や24時間の往診にも対応しており、医療面のサポートが充実している。隣接する同法人の老人保健施設に常勤する理学療法士も関わり、利用者個々に応じたりハビリを取り入れ残存機能維持に努めている。職員は利用者の性格や好みに合わせた細やかな気配りや話題づくりを心がけ、常に笑顔で接し、ゆったりとした雰囲気の中で日々の生活ができるよう支援している。ボランティアの受け入れや運動会、夏祭りといった行事参加の機会も多く設け、様々な交流を通し、利用者が楽しみながら住み慣れた地域社会の一員として暮らせるよう努めている。利用者も職員も「ゆったり」「たのしく」「いっしょに」過ごし、笑い声や笑顔が絶えない事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送りにおいて3つの行動指針と5つの基本理念、毎月の目標を唱和し共有化を図り実践している。	利用者主体の生活、利用者に寄り添うことを重視した理念となっている。職員は家庭の延長であることを念頭に日々の支援に努め、利用者と一緒に「楽しく」「ゆっくり」と笑顔を絶やさずに過ごしており、理念を実践に活かしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	住宅街ではない為近隣住民は疎らであるが、施設運営の毎月の行事に参加したり、保育園やボランティア、学生の実習などもあり、交流が保たれている。定期的に施設の広報誌を発行し、役場、病院などに置いてもらっている。	地区の夏祭りでは事業所駐車場が給水所となっており、神輿やお囃子が来訪し、利用者も太鼓をたたくなど地域の一員として地元行事に参加している。中学生の職場体験や高校生のボランティアを受け入れ、日頃から地域交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人内に複数の事業所があるので、ホーム単独ではなく、それらの事業所と連携してボランティアや、実習の受け入れ、講演などを実施している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	駐在所、消防署、民生委員、地域包括支援センター、ご家族に出席して頂き、情報交換を行い助言を受けている。会議の結果は全てのスタッフが周知しホームの定例会で報告し、議題として話し合い、サービスの向上につなげている。	民生委員、地域包括支援センター職員、利用者、家族等が出席している。事業所の活動や日頃の利用者の様子を写真付きで報告し現状を知ってもらい、積極的な意見交換に努めている。出された意見や提案は定例会議で話し合い、職員間で共有し、サービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険の更新時や、運営推進会議の議事録を提出する時等状況を伝えたりと密に連携を取っている。	総合支所に赴き手続きや相談を行うほか、必要に応じ市役所本庁にも問い合わせたり資料を送付してもらったりと、地域包括ケア推進課の担当者との連絡を密にし、連携を図っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在身体拘束はしていない。玄関の施錠に関しては、ホームの前は車通りが激しいため、ご家族には入居時にその旨を説明している。外へ行きたいなどの要望にはその都度対応している。	安全面から玄関は施錠しているが、利用者の希望に応じ職員が付き添い出入りは自由である。機能低下から特別な配慮が必要な場合も、アイデアを出し合い、安全に配慮した支援方法を検討している。日頃から利用者の思いや行動に気を配り、安全を確保しつつ、拘束のないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴時や、排泄介助時に全身の状態を観察し、傷や、痣があった場合は原因を確認し、ひやりはっと又は事故報告を作成し、全スタッフが共有できるように伝達帳にも記入している。又、高齢者虐待防止法に関する勉強会を持ち理解を深めている。		

グループホーム八州苑

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度に関する勉強会を持ち、理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約する時は可能な限り本人にも面会し、説明をし納得してもらったうえで契約している。又、解約をする時は、十分な話し合いを持ち退去先や、受け入れ先が決まってから退去して頂く。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を設置している他、毎月のご家族へ送っている手紙には「ご意見ご要望がございましたら、お気軽にお寄せ下さい」と記載している。又、面会時にもこちらでの様子を伝えながら、ご家族の要望を伺っている。	毎月個別に、担当職員手書きの手紙と日頃の様子が分かる写真を家族宛に送付し、近況報告している。運営推進会議や面会時には運営やケアに関する具体案を伝え意見を伺うなど、意見や要望を表しやすい環境作りに努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の定例会や、それ以外でもスタッフから意見、提案を聞いて運営に反映させている。	毎月の定例会議の他、管理者は日頃から職員の意見に耳を傾け、会話の中で意思疎通を図っている。勤務体制や日々の業務の手順等、意見を基に見直し、改善や向上に努めている。ホームページに職員専用ページを設け、そこでも意見を表せるようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	課題に応じたレポート提出を行うほか、各種研修の案内なども告知して自己啓発しやすい環境を作ると共に、スタッフのスキルアップを意識した経営を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で行われる研修を実施している他、外部研修にも積極的に参加している。ホームでは課題を決めレポートを提出している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修には積極的に参加をして交流の機会を持っている。又、同法人内の介護サービス事業所との勉強会や、行事などの機会もあり、それらを通じてサービスの質の向上を図っている。ほかの事業所からの研修を受けている。		

グループホーム八州苑

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に本人と面会をし困っていること、不安な事を聞き、その方がホームに入居した場合の生活をイメージしてもらいながら相談している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前調査の中で、ご家族にも十分お話を伺い、不安や、要望を聞き今後についての相談をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の状況を把握し、その時何を求めている、何を必要としているかを第一に考えて相談している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の準備、片付け、洗濯物たたみなど、それぞれに出来ることを見つけ、役割を持ってもらいスタッフは一緒に教わりながら共に過ごしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	近況報告や、生活状況の説明は手紙や電話、面会時に行っている。面会の少ない家族に対しては、面会の促しを行い、ホームの運営の理解と協力を仰いでいる。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間は、朝から消灯時間くらいまでと長くとっている。又、外出、外泊もでき、ご家族や、友人と過ごす機会はいつでも持てる。電話や手紙の希望があれば積極的支援している。	都合のよい時間に来所できるよう、面会時間は朝から夜まで設けている。家族や友人とお茶の時間を楽しんだり、馴染みの飲食店や墓参りに出かけたり、正月には帰省し親族との時間を過ごしたりといった外出、外泊のほか、手紙や電話での交流など、これまでの関係を継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフは、利用者同士の関係の把握に努めている。トラブルが起きた時には双方から話を聞き、納得されるまで問題解決につとめ、一人である方にはスタッフから積極的に声を掛け、孤立を防いでいる。		

グループホーム八州苑

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談等は随時受け付けており、希望される方には法人の広報誌「やすらぎ」の送付を行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	事前調査の時にはこれまでの暮らしぶりをお聞きし、希望や意向の把握に努めている。入居後は、アセスメントを活用したり、日々の生活状況、想いや希望を汲み取り、本人本位の支援に努めている。	日頃から会話の機会を多くもち、本人の関心のあることなど利用者が楽しく生き活きと話せる話題を振りながら、思いや意向を引き出す工夫をしている。落ち着かない、言葉が少ない、表情に変化があるなど、普段とは違った行動や様子が見られるときには声かけ傾聴し、本人の思いに寄り添うよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前調査の時に、これまでの暮らしぶりや、趣味趣向等をお聞きし、これまでの生活状況の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活は生活記録に記録している。その他にも、定例会などを通じて全スタッフが個人の情報を共有し、現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の意向を基に、介護スタッフ、医療関係者、PTの意見を加味してケアプランを作成している。状況の変化が見られた場合は随時見直しを行っている。	本人や家族の希望、職員意見、医師や理学療法士の意見を取り入れた介護計画を作成している。基本は3ヵ月毎のモニタリングを行い、状況に変化があればその都度見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各種記録表を整備し、内容は事柄だけでなく会話、表情も記録し、それらのファイルはスタッフがいつでも目を通せる場所に保管しており、情報を共有しながら介護に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ホーム単体のみならず、法人内の他事業所と連携し、本人と家族の希望や状況に応じた対応、支援をしている。		

グループホーム八州苑

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の公共施設の利用、ボランティアや、実習生の受け入れなど、地域資源を活用している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院は職員対応で受診しているが、これまでのかかりつけ医は家族にお願いし、受診している。受診の際、本人の状況をご家族に伝えスムーズな診察が受けられるよう支援している。	提携医院の定期的な訪問診療があり、昼夜問わず迅速に対応している。整形外科、皮膚科、眼科、歯科等は本人や家族の希望に沿ったかかりつけ医での受診を支援し、家族に付き添いをお願いしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホームには看護師がおり、利用者の日常の健康管理、急変時の対応、スタッフの相談も請け負っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族と、医療関係者で話し合ってもらうと共に、計画作成担当者が、家族、医療関係者と連絡を密に取り、早期退院に向けた対応をその都度検討している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「看取りの指針」を作成し、当法人の方針について家族への説明を行い理解をいただき、重度化や、終末期に備え準備している。又、現状ではどこまで支援できるかの見極めを行い、早い段階から家族、主治医と相談し、情報を交換を行い、入院や他のサービスの利用を含め本人と家族の意向を尊重し、要望に沿った支援が出来るよう心掛けている。	看取りの指針について利用開始時に家族へ説明を行い、同意書を作成している。延命処置など状況毎の医療処置については主治医、家族と密に話し合っている。看取りの事例はないが、事業所での看取り、老人保健施設への転所等も含め、利用者や家族の希望に添った対応ができるよう医療機関や関係部署との連携を図り備えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会や、講習会により、事故発生時の初期対応等を習得している。又、医療機関との連絡網を整備しスムーズな対応が取れるように努めている。緊急車両の要請についても地元消防署との通報訓練により備えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練、通報訓練、消火訓練、夜間想定訓練を定期的実施している。消防署とも連携を図りながら行ない、運営推進会議に出席して頂き助言を頂いている。又、ホームの連絡網には、民生委員の連絡先を加え災害時には地域の方の協力を得られるよう備えている。	日中・夜間想定避難、通報、消火訓練を行っている。近隣に住宅が少なく物理的に地域連携が難しい土地柄ではあるが、隣接する同法人事業所と連携しながら、地元消防団の連絡網をもらうなど、有事の際の地域との協力体制の構築に努めている。地震対策についてもマニュアル作成に向け検討中である。	

グループホーム八州苑

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎日の介護を通じて、利用者の心身の状態を把握し、それぞれの利用者に応じた対応、言葉かけが出来るよう、生活記録には細かく記載し、定例会で意見の交換を行い、全スタッフが同じ対応ができるようにしている。	本人の馴染みのある呼び名での声かけや、入浴やトイレ誘導の言葉かけなど、一人ひとりを尊重し、各々が安心して気持ちよく過ごせるよう配慮している。利用者個別の生活記録により情報を共有し、言葉かけのタイミングや介助方法など、全職員が同じ対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけ自己決定をしていただけるよう「お伺い」を立ててから行動している。又、「促し」や「励まし」によって自発的に行動して頂けるよう工夫し声掛けを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	規則正しい生活を保てるよう、基本的な時間割はあるが、本人のペースを尊重し、「お伺い」をたてて行動している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の好みの服を選んで着ていただき、スタッフは、季節や気温、汚れなどに気を遣いサポートしている。又、理美容については、本人の希望に合わせて対応している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や、片付けは出来る範囲で手伝って頂いている。昼食はスタッフも一緒に食卓を囲み、会話を楽しみながら食べている。外食会、パンバイキング、お弁当の日を設け楽しんで頂けるよう工夫している。	利用者はできる範囲でテーブル拭きや食器拭き等と一緒にしている。しもつかれなどの郷土料理やおはぎなど季節のおやつ作り、正月にはおとそを楽しんだり、鰻、ラーメンなど利用者の好みに合わせた外食会を実施したりと、食事を楽しめる行事を多く取り入れている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事はヨシケイを利用しカロリーや、栄養のバランスの摂れた食事を提供している。毎食後摂取量、水分量の確認を行ない摂取量の少ない方には声掛けをし対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後スタッフが声を掛け、個々に必要な口腔ケアを行っている。チェック表も確認し、やり忘れがないようにしてる。入れ歯は定期的にスタッフが消毒している。		

グループホーム八州苑

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	毎日個別の排泄記録を付け、一人一人の生活リズムに沿った声掛け、誘導を行い出来る限りトイレでの自立した排泄が出来るよう支援している。	排泄記録をつけ、食前食後のタイミングや1時間毎など、各々のペースや習慣に合わせて声かけを行い、自立している方には転倒防止の付き添いなど、個々に応じたサポートにより、トイレでの排泄を支援している。おむつやリハビリパンツから布パンツへの移行も実現している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日のラジオ体操、機能訓練を実施し、体を動かす機会を作っている。又、希望者には牛乳、ヤクルト等を出したり、おやつも便秘予防に繋がるものを提供している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	毎日入浴希望の確認を行ない、時間帯や長さもできるだけ本人の希望に合わせるよう配慮している。拒否がある方には、職員を変えたり、声かけを工夫し対応している。	曜日や時間は決めず、1日2～3名を目安に1対1で支援している。時間帯、同性介助、入浴時間や回数など、なるべく個々の希望に合わせて、一人ひとりのペースでゆったりと入れるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休息している人が居る時や、夜間は大きな物音に注意し寝付けない方がいる時は、話し相手になり温かい飲み物を提供したり、安心して再入眠できるように一緒に過ごしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の内容を把握できるよう薬の提供書をファイルしており、いつでも処方された薬に関して情報が確認できる。又、薬の変更があった場合は、医療ノートにも記入している。協力病院の薬剤師とは24時間連絡が取れるようになっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除や食事の片付けなど、出来ること、出来ること、出来そうなのは、手伝って頂けるよう声を掛けている。まんじゅう作りや、郷土料理など馴染み深いものはスタッフは教えて頂きながら、一緒に作業している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	天気の良い日は外でレクリエーションを行ったり、散歩、ドライブなど外に出る機会を多く設けている。それ以外でも希望があれば一緒に散歩をしたり、ご家族の協力を得ながら外出されている。	気候の良い日は外でラジオ体操や日光浴をしたり、お茶飲みやバーベキューを楽しんだり、同法人老人保健施設の中庭を散歩したりと、日頃から外出の機会を設けている。道の駅や地元の観光名所などへもドライブへ出かけている。買い物や外食に出かけるなど、家族の協力を得ながら希望に添った外出ができるよう支援している。	

グループホーム八州苑

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人のお小遣いは事務所で管理しているが、小銭程度のお金を持っている方もいて、出掛けた際などは家族へのお土産を購入される方もいる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族との通話の際はコードレスフォンを利用し、居室でゆっくりお話して頂いている。手紙を送る時は施設の封筒を利用し、大切な方との連絡がいつでも取れるようサポートしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	くつろげるソファを置いたり、利用者が作成した作品等を季節ごとに変えている。テレビの音量、日差しの調整、室温は利用者確認を取りながら快適に過ごして頂けるよう配慮している。	玄関ホールから廊下、居間、台所へとひとつなぎの空間となっており、天井が高く天窓からは柔らかな自然光が差し込んでいる。テレビは食卓からもソファからもよく見える位置に置いている。壁には曜日毎の時間割や季節の飾り、利用者の写真、作品などを飾り、心地よく過ごせるよう配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール以外にも玄関にソファがある為、1人でも、気の合った同士でも過ごせるスペースを確保している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	寝具や、家具は馴染の物を用意して頂けるよう家族にお願いしている。ご家族との写真、若い頃の写真、作品を飾る事で落ち着いた空間になるよう工夫している。	ベッドや筆筒、サイドテーブル、洗濯物干しや衣類収納ケースなどの家具のほか、家族写真や植物などの好みや馴染みの品を自由に持ち込み、各々が使いやすいその人らしい居室となるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内の手すりの設置や、物干し台の高さの調節など、身体に合った工夫をしている。又、分かりやすいように、表示、掲示物の大きさ、高さの調節を行い、利用しやすい環境に努めている。		